

浦城中学校便り

平成24年9月21日（金曜日）
第7号 文責：校長 牧野 直樹

頑張りました！ 夏休み中の職場体験学習

今年度から、授業時数を確保するという意図から「職場体験学習」を夏休み（夏季休業）中に実施することになりました。

「職場体験学習」は将来の職業選択、進路選択に向けて、勤労の大変さや「あいさつ」「返事」周りの人との「コミュニケーション」の大切さなどを実際に体験することによって、今後の学校生活や家庭生活に活かしていく事を狙いとしています。このような、将来の職業生活、社会生活に必要な多くのことを身に付ける教育を近年「キャリア教育」と呼ぶようになりました。教科の学習はもちろん、学級活動での進路学習、道徳、学校行事等すべてが将来の社会的・職業的自立ためだということです。

今回の職場体験学習は夏休み後半の忙しい日程の中で行われましたが、みんなしっかり頑張りました。



浦城区敬老会

16日（日）に開催されました浦城区の「敬老会」に浦城小学校・中学校の子供たちが歌やダンスを披露し、おじいちゃんやおばあちゃんからたいへん喜ばれました。

「地域に貢献する生徒会」「何でも挑戦する生徒会」を合い言葉に活躍する頼もしい生徒たちです。生憎、台風16号の影響で、横なぐりの風雨の中を、安井からもやってきてくれました。ふるさとを大切に、優しい心をもった人になってくれることを願います。



美結さん作文も、「若い目」に掲載される！

先日、磯谷実穂さんの「平和学習」の作文が宮崎日日新聞の「若い目」に掲載されたことをお知らせしましたが、一週間遅れて稲田美結さんの作文も掲載されました。また、宮崎市の81歳の方からお葉書を頂きました。

「戦争の話を聞く」 浦城中1年 稲田 美結

今日、平和学習があり、二人の講師の方が戦争のことについてお話をして下さいました。島野浦から来て下さった塩谷五月さんのお話で私は島野浦に空襲があったことを初めて知りました。島野浦にいったときに神社にある慰霊塔を見てみたいと思いました。

吉田千鶴子さんのお話の中で、橋の下に逃げようとしていたけれど、忘れ物があることに気づいて、家に帰ろうとしていたときに男の人が止めて下さったので命が助かったというところが一番に印象に残りました。

お二人のお話を聞いて、もう二度と絶対戦争が起こらないようにするために戦争のことをもっともっと知りたいなと思いました。そして、戦争は絶対してはいけないということをお話してできるようになりたいと思います。

稲田美結さんへ 宮崎市平和が丘北町 TN(81歳)

二期が始まりました。元気に通学していることでしょう。「若い目」で美結さんの「戦争の話を聞く」を読みながら心から感動致しました。

平和学習でお二人からのお話を聞き、戦争とは？について、強く心に残ったことでしょう。①島野浦にある慰霊塔を見てみたい。②吉田さんの危機一髪を救って下さった男の人の判断。③二度と戦争を起こしてはならないために戦争について学んでいく。④戦争を引き起こさないために「戦争」について語り継ぐ人間になりたい。美結さんの決意と平和を望む心が強く表れていて心に伝わりました。

昭和20年6月13日宮崎市の附属小学校の児童10数名が爆弾で即死しました。通学班長として3月まで一緒だった私の後輩たちでした。私も2回B29の空襲で直撃弾を受けました。その時私は軍事演習で外にいて助かりましたが、同室の人は3名即死しました。